

## S A Sバージョン 6.07 版の西暦 2000 年対応について

システム管理掛

S A Sシステムにおいて、西暦の下 2 桁の日付値を使用した場合、1900～1999 年間のデータとみなされます。

2000 年以降、または 1899 年以前のデータとして使用する場合は、“YEARCUTOFF” オプションを使用してください。

S A Sバージョン 6.07 版では、YEARCUTOFF=システムオプションに指定した年を開始年とする 100 年間で有効となります。これを指定しない場合は 1900 年が標準値となります。

例えば “OPTIONS YEARCUTOFF=1950 ;” と指定した場合、西暦下 2 桁が 50～99 の間の日付値は 1900 年代と解釈され、それが 00～49 の間は 2000 年代と解釈されます。

S A Sプログラム内で使用する場合の西暦 2000 年を、西暦下 2 桁で表現した日付値のプログラムの例を以下に示します。

```
OPTIONS YEARCUTOFF=1950;

DATA Y2KTEST;
    INPUT DATE;
    INFORMAT DATE YYMMDD6.;
CARDS;
001225

PROC PRINT DATA=Y2KTEST;
    FORMAT DATE YYMMDD10.;
RUN;
```

上記のプログラムを実行すると、以下の結果が得られます。

OBS	DATE
1	2000-12-25

なお、現在設定されている値は、以下のプログラムを実行することで確認できます。

```
PROC OPTIONS OPTION=YEARCUTOFF;
RUN;
```